

がん陽子線治療知って

津山中央病院（津山市川崎）と岡山大病院（岡山市北区鹿田町）は28日、津山文化センター（津山市山下）で「がん陽子線治療」をテーマにした市民公開講座を開く。

陽子線治療は放射線治療の一種。がん病巣に放射線をピンポイントで照射できるため、正常な細胞や臓器への影響を極力抑えられる。津山中央病院を運営す

28日津山で市民公開講座

る一般財団法人・津山慈風会が、来春のオープンを目指し、院内の敷地に中四国初の「がん陽子線治療センター」を現在建設している。

と題して講演。津山中央病院の藤木茂篤病院長と、がん陽子線治療センターを共同運用する岡山大病院の金澤右副院長が開設の経緯や意義などについて話す。

講座は、陽子線治療の国内の先駆けとして知られる兵庫県立粒子線医療センターの不破信和病院院長が「新しいがん治療」1。当日は会場内にがん保険の相談コーナーも設ける。問い合わせは津山中央病院（0868-21811）。

中央病院がセンター建設中